

# 社会科学習指導案

日 時 平成17年9月29日(木) 5校時  
学 年 3年(男子7名 女子7名 計14名)  
授業者 菊地 正則

1 単元名 「わたしたちの生活と経済『消費者の権利と保護』」

2 単元について

(1) 教材観

本単元は、学習指導要領の内容「(2)国民生活と経済」の1つとして取り上げるものである。ここでは、身近な消費生活を中心として経済活動の意義を理解させるとともに、流通や生産の仕組みについて理解を深めさせることをねらいとしている。

具体的には、「経済」とは何か、消費と貯蓄について、消費者の権利と保護、商業の今日的状況、企業の仕組みとはたらきなどについて取り上げ、それらの事柄に関して基本的なことを理解させる。さらに、課題を解決し生活の向上を図るために必要なこととして、個人や企業などの社会的責任をも含めて考えさせること、また、国民の経済生活の向上を実現するために国や地方公共団体が果たしている役割を取り上げ、国や地方の政府が行う公共的な経済活動(財政)が国民生活にとって重要な意味を持っていることについて理解を深めさせる場である。

(2) 生徒観

本単元では、これまでに経済活動について、また、家計の支出と消費について学習してきている。社会科の授業については真剣に取り組み、発言しようとする生徒も多い。自らの生活体験、あるいはマスメディアなどを通じて得ている知識をもとに政治単元の学習でも高い関心を示し、意欲的に参加する姿が見られている。一方で地理的分野、歴史的分野に比べ、難しさを感じている生徒も見受けられる。そこで、より具体的な資料や発問の工夫、グループによる話し合い活動等を取り入れて、意見交換をさせながら授業を進めてきている。本単元でも、この点を配慮しながら授業を展開していきたい。

(3) 指導観

経済活動に関しては、これまでに地理的分野、歴史的分野の学習でも取り扱ってきているが、経済学習と直接的につなげるところまでは学習を深めていない状況にある。

現代社会で生活している生徒たちは「消費者」であり、家によっては「生産者」という立場から経済を日常的に学んでいる。また、マスメディアを通じて情報を得ている部分も多く、イメージを持って取り組むことができると考える。

本単元は、経済単元の導入にあたる場面であるが、現代の身近な消費生活を中心に経済活動の意義を理解させるとともに、流通の働きや生産の仕組みについて、また、消費者の権利と保護について、具体例を挙げながら理解を深めさせたい。

### 3 単元の目標

[ 社会的事象への関心・意欲・態度 ]

- ・ 個人や企業の経済活動に対する関心を高め、意欲的に追究し、経済活動について考えようとする。

[ 社会的な思考・判断 ]

- ・ 社会における企業の役割と社会的責任について考察し、個人や企業の経済活動のあり方をさまざまな立場から公正に判断するとともに、国や地方公共団体のあり方について判断することができる。

[ 資料活用の技能・表現 ]

- ・ 個人と企業の経済活動に関するさまざまな資料を収集し、学習に役立つ情報を適切に選択して活用するとともに、追究・考察した過程や結果をまとめたり説明することができる。

[ 社会的事象についての知識・理解 ]

- ・ 経済活動の意義や市場経済の基本的な考え方や生産の仕組みのあらまし、金融の働きについて理解し、その知識を身に付けることができる。

### 4 指導計画と評価規準

節	項	学習内容	時間	社会的事象への関心・意欲・態度	社会的な思考・判断	資料活用の技能・表現	社会的事象についての知識・理解
第4章	1	ハンバーガーショップの経営者になってみよう!	1	企業が出店する際、どんな点を考えるかについて、意欲的に取り組むことができる。	店の出店条件について自分の考えを持つことができる。	資料から判断して、どこに出すべきか自分の考えをまとめる(発表する)ことができる。	
		消費と貯蓄	1	所得と支出の関係について、意欲的に取り組むことができる。			所得と支出の関係について理解することができる。
		消費者の権利と保護	1 (本時)	消費者の権利の保障について、意欲的に取り組むことができる。			消費者の権利を守るために行われている取り組みや、国や地方公共団体がやっている施策について理解できる。
		流通のしくみ	1	様々な商品の流通経路について、意欲的に取り組むことができる。	流通の合理化と価格の関係について考えをまとめることができる。		商業について理解することができる。
		生産のしくみ	1	企業の目的から資本主義の大きな特徴について関心を持つことができる。			株式会社の仕組み、企業の目的、種類と働きについて理解することができる。

## 5 本時について

### (1) 目標

- ・ 消費者の権利の保障について、意欲的に取り組むことができる。[社会的事象への関心・意欲・態度]
- ・ 消費者の権利を守るために行われている取り組みや、国や地方公共団体が行っている施策について理解できる。[社会的事象についての知識・理解]

### (2) 具体の評価規準

	A(十分満足できる)	B(おおむね満足できる)	「努力を要する」と判断される生徒への支援
社会的事象への関心・意欲・態度	消費者の権利の保障について、自分の経験をもとに、課題に対して積極的に自分の考えを発表することができる。	消費者の権利の保障について、話し合いにより自分の考えをまとめ、発表することができる。	他人の意見をまとめ、予想につなげさせる。
社会的事象についての知識・理解	消費者を守るために、企業、国、地方公共団体が行っている施策について記述し、学習内容に触れながら感想も記述している。	消費者を守るために、企業、国、地方公共団体が行っている施策について記述し、感想も記述している。	消費者の権利はどう守られているのか、また、国や地方公共団体が行っている施策がわかるように板書をもとに説明する。

### (3) 指導の構想

本時は、学習指導要領の「内容の取り扱い」にあるように、「消費者の保護については消費者保護行政を中心に扱う」ことをねらいとしている。ここでは、消費者の利益の擁護及び増進に関し、国は経済社会の発展に即応して総合的な施策を実施する役割、地方公共団体は地域の社会的、経済的な状況に応じた施策を実施する役割を担っていることを具体的な事例を通して理解させる。また、企業が国や地方公共団体の施策に協力する責任があることについて理解させることを中心に深めさせる。この点にも留意しながら授業を展開していきたい。

具体的には、導入で消費者の権利をポイントをおさえながら提示し、学習課題の設定につなげたい。展開では、学習課題に対する予想を個人で立てさせ、その後、その根拠をグループで考えさせる。予想の検証では、消費者の権利を保障しようとする企業の取り組みについて具体的な例を提示しながら理解させる。また、消費者の権利が守られていない事例を事前のアンケート結果から提示し、悪質商法についてつなげていき、相談先についても具体的に考えさせる。そして、国や地方公共団体の取り組みを調べる。さらに、終末では本時のまとめを書かせる中で、学習の振り返りの場を設定し、消費者の権利を守るための企業の配慮、国や地方公共団体が保護のための取り組みを行っているということを理解させ、評価の場としたい。

(4) 展開

段階	学習内容	学習活動	指導上の留意点(・)教師の支援( )評価の観点
導入 8分	1 前時までの想起	1 前時の学習内容を確認する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>本時に必要な既習事項の確認をさせる。</li> <li>それぞれの権利のポイントをおさえながら、消費者の権利について提示する。</li> </ul>
	2 消費者の権利の提示	2 消費者の権利について知る。 (安全である・知る・選ぶ・意見を反映させる権利)	
展開 33分	3 学習課題の設定	3 学習課題を設定する。	<p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px;">消費者に認められている権利は守られているのだろうか？</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>個人ごとに xで予想をさせる。</li> <li>グループごとに根拠を具体的に予想をさせる。  <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin: 5px 0;">経験や話し合いにより、予想を立てることができたか。【関心・意欲・態度】</div> </li> <li>既習事項を基に確認させる。企業側の努力、配慮等について具体的な例を提示する。</li> <li>悪質商法の実態を具体例を示しながら気付かせる。</li> <li>どこに相談したらいいか考えさせることで権利を守る取り組みに具体性を持たせる。</li> <li>消費者保護の法については簡単に触れる程度とする。</li> </ul>
	4 課題についての予想・発表 (1) それぞれの権利が守られているかどうかの予想(個人ごと) (2) その根拠についての予想(グループごと)	4 課題について予想し、発表する。 <ul style="list-style-type: none"> <li>安全である権利は...</li> <li>知る権利は...</li> <li>選ぶ権利は...</li> <li>意見を反映させることができる権利は...</li> </ul>	
終末 9分	5 予想の検証 (1) 企業の取り組み <ul style="list-style-type: none"> <li>選ぶ権利の保障</li> <li>知る権利の保障</li> <li>意見を反映させることができる権利の保障</li> <li>安全である権利の保障</li> </ul> (2) 消費者の権利が守られていない事例 <ul style="list-style-type: none"> <li>アンケート結果の提示</li> <li>悪質商法の実態</li> </ul>	5 予想について検証する。 (1) 企業の取り組みから確かめる。 <ul style="list-style-type: none"> <li>資本主義社会</li> <li>宣伝の実態</li> <li>消費者相談窓口</li> <li>ユニバーサルデザイン</li> <li>表示ラベルの設置</li> <li>安全性を考えた商品開発</li> </ul> (2) 権利が守られていない事例から確かめる。 <ul style="list-style-type: none"> <li>商品を購入する際の問題点について確認する。</li> <li>悪質商法の実態について知る。</li> </ul>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">消費者の権利はどう守られているのか理解できる。【知識・理解】【関心・意欲・態度】</div> <p>商品が消費者に届くまでの流れについて学習することを予告する。</p>
	6 国、地方公共団体の取り組み <ul style="list-style-type: none"> <li>消費生活センター</li> <li>消費者基本法</li> <li>消費者契約法</li> <li>製造物責任(PL)法</li> </ul>	6 関連する法や相談機関について調べる。	
終末 9分	7 本時のまとめ	7 本時の学習を振り返り、まとめを記入する。	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">消費者の権利はどう守られているのか理解できる。【知識・理解】【関心・意欲・態度】</div> <p>商品が消費者に届くまでの流れについて学習することを予告する。</p>
	8 次時の予告	8 流通のしくみについて学習していくことを知る。	